赤松金芳著「新訂和漢薬」より

生薬名 樟

新訂和漢薬　記載頁 419

基源 クスノキ科 クスノキ Cinnamomum camphora Sieb. の樹幹，樹皮，樹節，固形精油.

部位 樹幹，樹皮，樹節，固形精油（樟脳）.

作用
樹幹(樟樹):
無毒 [証類本草, 本草網目].

樹皮(樟皮):
無し.

樹節(樟瘿節):
無し.

樟脳(クスノキ幹根より採った固形精油):
無毒．通関窮，利滞気，辟蠹，殺虫 [証類本草, 満洲漢薬].

応用
樹幹(樟樹):
悪気中悪，心腹痛，鬼疰，霍乱，腹脹，宿食不消，吐酸，脚気，疥癬，風癢 [証類本草, 本草網目]，手足痛風 [本草網目].

樹皮(樟皮):
天行瘟疫，湿毒流注，心疼，霍乱，脚瘡，脚気，疥癬 [本綱拾遺].

樹節(樟瘿節):
風痃，鬼邪 [本草網目].

樟脳(クスノキ幹根より採った固形精油):
中悪邪気，霍乱，心腹痛，寒湿脚気， 疥癬，風癢，禿瘡 [本草網目]，齲歯 [本草網目](= 牙痛)，癩疹 [本草網目].

処方 樟脳(クスノキ幹根より採った固形精油): 透頂散〔頭痛〕，神授丹〔癲癇〕，清音丸〔失音〕.

備考